

問1 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の民間銀行に対して資金を貸し出したり、預金を受け入れたりする役割を何と呼びますか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. 銀行の銀行 2. 政府の銀行 3. 発券銀行 4. 国民の銀行

問2 家計などの資金の出し手から預金としてお金を預かり、その資金を企業などの借り手に貸し出す仕組みを、銀行などの金融機関が仲立ち（媒介）することから何と呼びますか。（2026年 山梨公立入試 類似）

1. 間接金融 2. 直接金融 3. 公開市場操作 4. 財政投融资

問3 日本銀行の役割についての説明として、正しいものはどれですか。（2018年 兵庫公立入試 類似）

1. 一般の人や会社にお金を貸し出す 2. 日本銀行券という紙幣を発行する 3. 町にあるスーパーでお買い物をする 4. 外国の政府から直接税金を集める

問4 景気が過熱し、インフレーションの恐れがある場合に政府が行う財政政策として、経済を安定させるための適切な組み合わせはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

1. 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する 2. 公共事業を増やしたり、減税を行ったりして、社会全体の需要を刺激する 3. 公共事業を増やし、同時に増税を行うことで、財政赤字の解消を優先する 4. 公共事業を減らし、同時に減税を行うことで、企業の投資意欲を高める

問5 不景気の際、日本銀行は景気を刺激するために「買いオペレーション」という金融政策を行うことがあります。この政策の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 日本銀行が民間金融機関から国債などを買入れることで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げ経済活動を活発にする。 2. 日本銀行が民間金融機関に国債などを売却することで、市場から通貨を回収し、金利を上げて物価の安定を図る。 3. 日本銀行が政府から直接国債を買入れることで、政府の公共事業費を増やし、雇用の創出を図る。 4. 日本銀行が民間金融機関の預金準備率を引き上げることで、銀行が貸し出せる資金を増やし、消費を促す。

問6 景気が過熱し、物価が上がり続けるインフレーションの懸念がある際、日本銀行が行う「売りオペレーション」の仕組みとして最も適切な説明を選びなさい。（2023年 大阪公立入試 類似）

1. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を減らすことで、金利を上昇させる。 2. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場の資金量を増やすことで、金利を低下させる。 3. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を増やすことで、景気をさらに刺激する。 4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場の資金量を減らすことで、物価の安定を図る。

問7 「日本銀行」が景気の安定を図るために、一般の銀行との間で国債を売買することなどを通じて、世の中に流通する通貨量を調節する仕組みを何というか。（2023年 長崎公立入試 類似）

1. 金融政策 2. 財政政策 3. 社会保障制度 4. 独占禁止法

問8 企業が大規模な設備投資などを行うために、家計などの投資家から直接資金を調達する「直接金融」という仕組みがあります。この際、企業が自らの信用に基づいて発行する、出資の権利や債務を証明する証書の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 株式と債券 2. 預金と借入れ 3. 税金と補助金 4. 小切手と手形

問9 日本の中央銀行である日本銀行は、私たちの生活に関わる重要な役割を担っています。日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し出したり、銀行から預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものはどれか。（2019年 高知公立入試 類似）

1. 銀行の銀行 2. 政府の銀行 3. 発券銀行 4. 国民の銀行

答え合わせ・解説

問1	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の企業と直接取引を行うことはありません。その代わりに、三菱UFJ銀行や地方銀行といった「一般の銀行」を相手に資金の貸し借りや預金の管理を行うため、このような名称で呼ばれます。これにより、金融機関同士の資金のやり取りを円滑にし、経済全体の安定を支えています。
問2	答え 1 間接金融	資金の出し手（家計）と借り手（企業）の間に銀行などの金融機関が入り、預金という形で集めた資金を貸し出す仕組みを間接金融といいます。貸し手と借り手が直接取引を行わないため、この名称で呼ばれます。
問3	答え 2 日本銀行券という紙幣を発行する	日本銀行は「発券銀行」とも呼ばれ、私たちが普段使っているお金（日本銀行券）を発行できる唯一の銀行です。一般の銀行とちがひ、私たち一人ひとりが直接お金を借りたり預金したりすることはできません。
問4	答え 1 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する	政府は景気を調整するために、支出（公共事業）と収入（税金）を操作します。景気が良すぎる（過熱している）ときは、道路建設などの公共事業を削減して政府支出を抑えるとともに、増税によって国民や企業が自由に使えるお金を減らします。これらの措置によって、社会全体の買い物の勢い（総需要）を抑え、物価の安定を図ります。
問5	答え 1 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れることで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げて経済活動を活発にする。	不景気のとき、日本銀行は市場の通貨（お金）の量を増やして景気を上向かせようとします。日本銀行が民間金融機関の持っている国債を買い取ることで、その代金が民間金融機関に支払われ、社会全体に出回る通貨量が増加します。その結果、資金の借り入れが容易になり、金利が低下することで企業の設備投資や個人の消費が促進されます。この一連の操作を買いオペレーションと呼びます。
問6	答え 1 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を減らすことで、金利を上昇させる。	景気が過熱しているとき、日本銀行は保有している国債を民間銀行に売却し、その代金として市場から資金を回収します。これにより、世の中に出回る通貨の量（資金量）が減少するため、資金の希少価値が上がり、金利が上昇します。金利が上がると、企業や個人が銀行からお金を借りにくくなるため、過剰な投資や消費が抑えられ、物価の上昇を食い止めることができます。
問7	答え 1 金融政策	日本銀行が通貨の供給量を調節することで、物価の安定や経済の健全な発展を目指す仕組みを金融政策と呼びます。主な手段として、市場での国債の売買（公開市場操作）があります。選択肢にある「財政政策」は、政府が予算や税制を通じて景気を調整するものであり、実施主体が日本銀行である場合には「金融政策」が適切な用語となります。
問8	答え 1 株式と債券	企業が銀行などの金融機関を仲介役とせず、市場を通じて投資家から直接資金を集める仕組みを直接金融と呼びます。この方法で用いられる代表的な証書が、出資者に対して発行する「株式」や、借入金に対して発行する「債券（社債）」です。これに対して、銀行が預金者から集めたお金を企業に貸し出す仕組みは「間接金融」と呼ばれ、明確に区別されます。
問9	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は一般の個人や企業と直接取引をするのではなく、民間銀行を相手に預金や貸し出しの業務を行います。この機能は、一般の銀行にとっての銀行であるという意味で「銀行の銀行」と呼ばれます。その他の役割として、紙幣を発行する「発券銀行」や、国の税金を管理する「政府の銀行」としての側面も持っています。